

くすり一口メモ

プロスタグランジン関連製剤の分類

プロスタグランジン (PG) は必須脂肪酸，すなわちリノール酸 (6油) と α -リノレン酸 (3油) から作られるホルモン様物質で，体内においては相反する作用を持つ多種類のPGのバランスの上に成り立っているとされています。炭素原子の二重結合の数によりPGは，1，2，3の3つのグループに分かれており，1のグループは α -リノレン酸から，2のグループはアラキドン酸から，3のグループはエイコサペンタエン酸 (EPA) から作られ，その中でさらに細分化され多種多様の作用を示します。

ここでは，さまざまな生理活性を有するPGのなかで，現在臨床応用されている製剤について，TXA₂，LT拮抗剤およびEPA製剤も含め，主な商品名 (一般名) と薬理作用をまとめました。

製剤名	薬理作用	主な商品名 (一般名)	臨床応用
PGE ₁ 製剤	血管拡張 血小板凝集抑制	プロスタンディン注 (アルプロスタジルアルファデクス) リブル注 (アルプロスタジル)	末梢循環障害の改善
PGE ₁ 誘導体制剤	頰管拡大・子宮収縮	プレグランディン腔坐剤 (ベメプロスト)	治療的流産
	血管拡張 血小板凝集抑制	オバルモン錠・プロレナル錠 (リマプロスト)	末梢循環障害・閉塞性血栓性血管炎の改善
	胃酸分泌抑制 胃粘膜細胞保護	サイトテック錠 (ミソプロストール) アロカ・ロノックカプセル (オルノプロスチル)	胃潰瘍・十二指腸潰瘍の治療
PGF ₂ 製剤	子宮収縮 腸管平滑筋収縮	プロスタルモンF注 (ジノプロスト)	陣痛誘発・分娩促進 術後腸管運動の亢進
PGF ₂ 誘導体制剤	眼圧下降	レスキュラ点眼液 (イソプロストン ウノプロストン) キサラタン点眼液 (ラタノプロスト)	緑内障・高眼圧症の治療
PGE ₂ 製剤	子宮収縮	プロスタルモンE錠 (ジノプロストン ベータデスク) プロスタグランディンE2錠 (ジノプロストン)	陣痛誘発・分娩促進
PGE ₂ 誘導体制剤	胃酸分泌抑制 胃粘膜細胞保護	カムリードカプセル (エンプロスチル)	胃潰瘍の治療
PGI ₂ 誘導体制剤	血管拡張 血小板凝集抑制	ドルナー錠・プロサイリン錠 (ベラプロストナトリウム) フローラン注 (エボプロステノール ナトリウム)	末梢循環障害の改善 原発性肺高血圧症の治療
TXA ₂ 合成阻害剤	血小板凝集抑制	カタクロット注 (オザクレル ナトリウム)	脳虚血症状の改善
	気管支収縮抑制	ベガ錠・ドメナン錠 (塩酸オザクレル)	気管支喘息の治療
LT拮抗剤	気管支収縮抑制	オノンカプセル (ブランルカスト水和物)	気管支喘息の治療
EPA製剤	血小板凝集抑制 脂質低下	エパデール (イコサペント酸エチル)	末梢循環障害の改善 高脂血症の治療

【参考文献】現代医療 Vol.27, 7, 1995

プロスタグランジンをめぐる話題
(鹿児島市医師会病院薬剤部 桐野 玲子)